

みしまファンネット推進事業

アナ： 「市長が語る 2024 三島」第5回の今日は、「みしまファンネット推進事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 早速ですが、「みしまファンネット推進事業」とは、どういったものでしょうか。

市長： 「みしまファンネット」という言葉のとおり、多くの皆様に三島のファンになっていただく取り組みでございまして、市民の方には「三島に住んで良かった」と改めて感じていただけるように、また、市外の方には「三島に行ってみたい、三島に住みたい」と思っていたけるように様々な事業を展開するものです。

アナ： 三島のファンを増やす取り組みですね。

そのためにどのようなことをされるのでしょうか。

市長： はい。今年度から、「水の都三島で子育て」と題して、各種のプロモーションを展開してまいります。

近年、三島市には、首都圏などから多くの方が移住してくださっており、静岡県の中でも、県外からの「移住者数のランキング」で毎年、上位となっております。

実際に三島に移住をされた方々に、移住先を三島市にした理由をお尋ねしたところ、「首都圏からのアクセスも良く、通勤・通学ができることに加え、自然環境、特に水辺環境が大変良く、そのような中で子育てがしたかったので、三島に移住しました。」という大変うれしいご感想を多くの方からいただいております。

アナ： 最近では、東京から移住された方のお話などを伺うことも多くなってきました。

また、源兵衛川などでも、多くの親子連れの方が水辺を楽しんでいる姿を目にしますね。

市長： そうですね。そのような「水の都で子育てをしたい」という多くの皆様からの感想をタイトルにしたものが、今回の「水の都三島で子育て」プロモーションでございまして。

アナ： なるほど。具体的にはどのような取り組みをされるのでしょうか。

市長： まずは、「水の都三島で子育て」を題材にしたイメージイラストを絵本作家の方に描いていただきます。

そのイラストをシンボルデザインとして、ポスターやSNSに掲載するとともに、伊豆箱根鉄道駿豆線にラッピング電車を走らせるなど、目に見える取り組みを展開し、市内外の皆様に改めて三島市の子育て環境の良さや充実した子育て支援制度などをアピールしてまいります。

アナ： 三島市では、高校生まで医療費が無料となる「子ども医療費の助成」や

「みしまっ子すくすく祝金」をはじめ「病児・病後児保育サービス」、
「育児サポーター」など、子育て支援制度も充実していますからね。

市長： はい。三島市の充実した子育て支援制度を改めて皆様に知っていただくとともに、三島で楽しく子育てをしてもらい、快適な毎日を送っていただけるよう、新たな取り組みとして、「AIを活用したイベント情報サービス」を導入しました。

アナ： 「AIを活用したイベント情報サービス」とはどのようなものなのでしょうか。

市長： はい。これまで市内で行われるイベントの情報は、主催者がそれぞれ単独で情報を発信していましたが、このサービスは、静岡県内の市町では初めての導入となりますが、主催が市であるかどうかを問わず、インターネット上で公開されている「三島市内で開催されるイベント情報」をAIが自動で収集し、一つのサイトに集約して提供するものです。

アナ： それはとても画期的ですね。

イベントが検索しやすくなってとても便利になり、「来週はどのイベントに行こうかな」と、とても楽しみになりますね。

市長： そうですね。

三島市の公式ホームページや公式LINEなどのウェブページ上に、イベント情報サービスの入口となるバナーをわかりやすく掲載しておりますので、ぜひご活用いただき、三島市でのイベントを満喫していただきたいと思います。

アナ： ぜひ利用してみたいと思います。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。